

## 子どもの自主性が伸びる⑩のヒント

「子どもが変わる最高の叱り方、ほめ方」(PHP のびのび子育て 5 月増刊号) という雑誌の中で谷口貴彦さんがコーチングの手法で子どもを伸ばすヒントを紹介しています。

要約すると、「人は感情によって行動する。一番、自主性を育てる感情は、『嬉しい』である。日々の生活の中で、ちょっとした一言で、子どもの『嬉しい』という心に火を灯す 10 のヒントとして」次のことをあげています。

- |                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| ① 「上手になったね！」    | 小さな進歩を見つけて、自信を育てる。           |
| ② 「がんばってるね！」    | 「がんばれ」は、時として「努力が足りないよ」と聞こえる。 |
| ③ 「助かったよ！」      | お手伝いをしたときに、一言どうぞ。また、やる気になる。  |
| ④ 「嬉しいよ！」       | 人は誰かを感動させたとき、一番感動するようです。     |
| ⑤ 「教えて！」        | 子どもの得意なことに関心をもって教えてもらう。      |
| ⑥ 「任せたね！」       | 一人前として認められた、という気持ちになります。     |
| ⑦ 「ありがとう！」      | 優しい気持ちに応える言葉が「ありがとう」です。      |
| ⑧ 「ごめんね！」       | 非を認めることで、こどものいたわりの心が生まれます。   |
| ⑨ 「どうしてだと思う？」   | 周りの出来事や誰かのうまくいっていることに対して使う。  |
| ⑩ 「どうしたらいいと思う？」 | 相談されると、人は尊重されていると感じる。        |

また、波多野ミキさんは「まったく叱らずに子育てすることはできない。きちんとした生活習慣や対人態度、社会性などを育てるために、時にはきびしく叱ることも必要」とし、自分や他人を危険にさらした(さらしそうになった)とき、他人に迷惑をかけたとき、約束を守らなかったとき、ルールを守らなかったなど反社会的行為をしたときなどをあげています。